

平成31年度を迎えて

新年度を迎え、市町村等の職員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

東日本大震災から8年が経過しましたが、3月にはようやく宮城県内の災害公営住宅が全て完成し、震災で住居を失った被災者の住まいの再建が震災からの復興に大きな節目となりましたことは、県内市町村等の皆様の努力の賜物と深く敬意を表するものでございます。

さて、本組合の業務につきましては昨年の4月より苦渋の決断として退職手当の支給率を引き下げたところでありますが、今年の秋以降には定年年齢の延長に伴う退職手当制度が本格的に議論されることが予想されますので、これらの情報につきましても諸会議において周知等に努めて参ります。

また、負担金制度につきましても構成団体間の収支精算額の較差を是正すべく検討する予定としておりますが、構成団体から理解が得られるよう公平な負担金制度を検討して参りますので、今後とも組合運営に対してご協力とご理解を賜りますようお願いいたします。

最後に、5月1日から新元号令和がスタートし、新しい時代の幕開けとなりますが、県内市町村等の益々のご発展と職員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

平成31年4月

宮城県市町村職員退職手当組合

組合長 佐藤 仁

(宮城県南三陸町長)